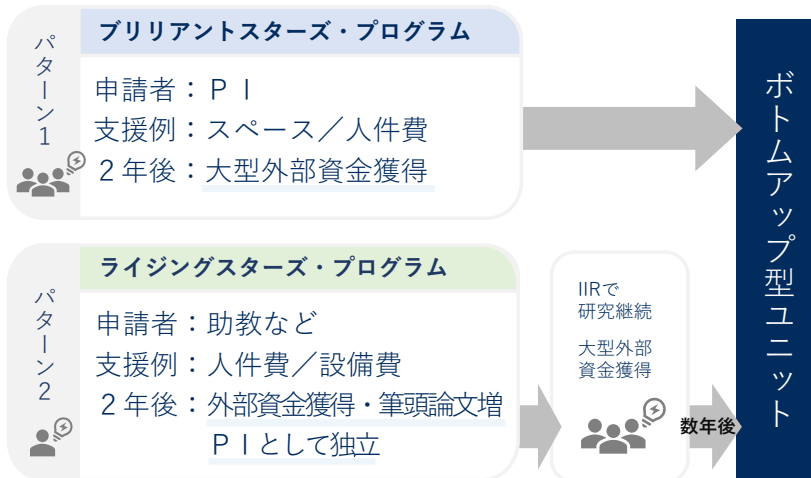


目的

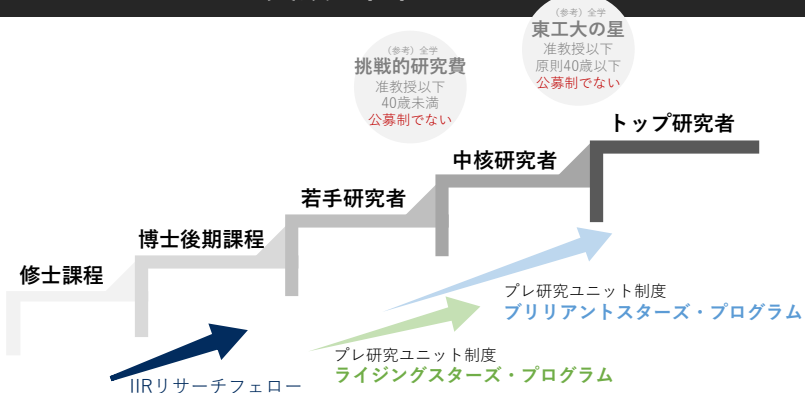
キャリアステージに応じた研究支援を実施

ボトムアップ型研究ユニット

を目指す研究を育てる



支援の位置づけ



応募条件

パターン1・2共通

優秀な研究者が挑戦できるように**対象を広く設定**

年齢	45歳以下 または学位取得後18年以内 *ライフイベント（出産・育児・介護）により研究に専念できない時期があった場合は当該期間を加算できるものとする
対象者	常勤／非常勤 職位不問
業績	一定の基準は設けず、自らがアピールできる研究業績をもとに申請
対象研究	未来社会からの要請に応える研究 将来を囑望される基礎的・萌芽的な研究

支援内容

研究分野・キャリアステージに応じて
必要な支援を実施



希望する支援内容を申請時に記載

支援額

当初予定額 4,800万円（2,400万円×2年）

審査の結果
 増額を決定 **5,600万円（2,800万円×2年）**

	パターン1	パターン2
	ブリリアントスターズ・プログラム	ライジングスターズ・プログラム
期間	2年間	2年間
金額	1,200万円 (600万円×2年)	400万円 (200万円×2年)

※年度繰り越し不可／各年度使い切り
 ※支援内容に応じて各年度の支援額は相談に応じる

ブリリアントスターズ・プログラム採択

革新的有機光エレクトロニクス研究ユニット

Innovative Organic Optoelectronics Research Unit

フロンティア材料研究所 准教授

伊澤 誠一郎

乾電池 1 本という世界最小電圧で発光する、独自の青色有機EL技術を発展させ、低電圧化と同時に高効率化達成を目指す。

ATOM-DX研究ユニット

ATOM-DX Research Unit

化学生命科学研究所 准教授

今岡 享稔

カーボンニュートラルや量子デバイス用の量子ビット等、社会問題の解決に資する物質群を探索評価するための新しい計測・解析システムを構築する。

次世代二次電池研究ユニット

Next-generation secondary battery Research Unit

ゼロカーボンエネルギー研究所 助教

安井 伸太郎

低コストな次世代の二次電池として、安全安心に利用でき、作製コストが圧倒的に優れたLiおよびNaイオン全固体電池の構築と実装を目指す。

ライジングスターズ・プログラム採択

光ベクトル行列積演算に基づく ナノフォトニックコンピューティング

Nanophotonic Computing based on Photonic Vector Matrix Multiplier

未来産業技術研究所 助教

相川 洋平

光領域で稼働するデジタル回路の実現に取り組む。

有機金属錯体を基盤とした 有機熱電変換材料の開発

Development of organic thermoelectric materials based on organometallic complexes

化学生命科学研究所 助教

田中 裕也

高い熱電変換性能を示す分子性材料を開発する。

可搬性を持つ固体酸化物形燃料電池 実現へのプラットフォーム構想

A platform for portable solid oxide fuel cells

未来産業技術研究所 助教

山田 哲也

固体酸化物形燃料電池(SOFC)を小型化し、可搬性を付与するためのプラットフォームを構築する。

将来のパンデミックに備えた 迅速対応基盤

Rapid-response platform for combating future pandemics

化学生命科学研究所 助教

朱 博

将来のパンデミックに迅速に対応できるプラットフォームを構築する。

「脳の窓」を起点とした 血圧制御機構の解明

Brain mechanisms for the control of blood pressure

生体恒常性研究ユニット 特任助教

松田 隆志

感覚性脳室周囲器官を中心とした血圧制御メカニズムの解析に取り組む。